

令和4年度実績報告（ふるさと納税返礼品の充実及び拡充）

事業名

ふるさと納税返礼品の充実及び拡充

実施団体名

一般社団法人ママライフデザイン研究所

事業の目的

北名古屋市ふるさと納税返礼品の充実及び拡充を目的とした、事業者の新たな返礼品の提供者の発掘。市外周縁部に対する販促マーケティング。

事業の概略

- 4月 意見交換会告知、マーケティング調査
- 5月 KITANAGOYA まちでツナガル座談会
- 6月 新規登録事業者向けの説明会
- 10月 キャプション作成、POP作成
- 11月 SNS発信

事業の効果・成果

新規事業者について9社の登録があった。

日中リアルでの説明会を改め、夕方にオンライン説明会（アーカイブ対応）に変更したことにより、多くの事業者に参加していただいた。

登録事業者の想定より、多くに寄付申し込みがあり、新たな返礼品も追加登録された事例があった。

事業を実施しての問題点

キャプション作成や撮影などについて、利用される事業者が2社しかなかった。

協働で事業を進めるにあたり、市と団体側それぞれの役割担当の難しさを感じた。

自己評価

着目点	自己評価	自己評価コメント
市が提示するテーマを協働で解決するための取り組みでしたか	◎	・企画したまちでツナガル座談会、事業者向け説明会を開催し、周知（市広報やLINE、ママライフデザイン研究所インスタで参加募集や結果報告）したことで、市が「返礼品拡充に向けて取り組んでいる」ということが知れ渡った。飛び込みで事業者登録をしていただけるようなケースもあり、機運の高まりとなった。
当初の事業計画、予算計画は適切でしたか	△	・キャプション作成・撮影などへ魅せ方への重要性を伝えることに至らず、予算より下回った。登録事業者の情報発信については想定内にて予算計画通りに実施できた。
事業を確実に実施するために適切な体制でしたか	○	・担当部門を分けていたので、滞りなく実施できた。 ・行政との実施計画がどの都度（事業者様の状況に応じて）であったが、随時話し合い柔軟に進めていくことができた。
費用に対しての効果や成果が見込まれましたか	○	・今回の補助事業により、新規事業者登録9社（事業期間中）これらの返礼品を選んだ寄附あり。一度、返礼品登録をしていただくことで、寄附はその時だけでなく、継続的に可能となるため返礼品は市への貴重な資産となる。
事業実施により、具体的な効果が期待できるものであるか。	◎	・実施後、各事業者様への返礼品申し込み増加。他市からプロジェクトへの問い合わせ増。PRにより話題性が他市町へも伝わったことは、行政だけでは、市外在住者へのPRは難しいため、有効な手段であった。
事業が一過性のものに終わらず、持続又は普及しますか	○	・今後も、弊社の活動の1つとして、返礼品拡充のサポートや情報提供等をしていく。
対処の拡大や内容の改善を行いながら発展していく可能性がありますか	○	・キャプションの魅せ方や撮影方法で、より商品の魅力を伝えることが可能である。北名古屋市の素晴らしい商品やサービスをリアルなイベントともリンクさせたいけると発展すると考える。
団体の強みを生かした事業となりましたか	◎	・返礼品の写真撮影やチケットデザインや店頭PRポップのデザインなど、団体の強みを生かした取り組みで返礼品の魅力を引き出すこと。市内外へSNS発信によりPRから実際にふるさと納税返礼品申し込みまでの導線につなげることができた。
当初の目標、目的どおりの成果が得られましたか	○	・ふるさと納税プロジェクトとして、座談会からもっと市民参加形で盛り上げることができたら良かった・ ・登録事業者数は達成できたが、もう少しメリットなどを伝えるような機会があれば、増えたと考える。

審査会委員評価

事業の良いと思われる点

- ・説明会をアーカイブ動画で配信したこと。
- ・団体の強みを十分発揮していただけた。
- ・登録までの流れを一つのパッケージとすることができた。

事業についてのアドバイス、期待する点

- ・引き続き連携しながら、拡大・拡充につなげてほしい。
- ・個人店へのキャプション作成、商品撮影について引き続きサポートしていただきたい。